



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,296戸
●人口 ……3,804人
男性/1,882人 女性/1,922人
令和7年1月31日現在

集いの中にたくさんの笑いがあふれました 出東ふれあいサロン

5月 2日(水)22日(水)

カラーリストHIROさんを講師に、パーソナルカラー診断で自分に似合う色を見つけました。マフラーの素敵な巻き方も教わり、日々の生活を彩るおしゃれを楽しみました。



7月 4日(水)24日(水)

第1部で出雲市生活・消費相談センターの勝部さん、林さんを講師に、消費者問題出前講座を受けました。還付金詐欺や訪問販売のトラブルなどの事例を説明され、自分のことのように感じながら話を聞きました。第2部はウクレレサークルの「あいねっと」さんによる、ウクレレのやさしい音色とともにみんなで歌を歌って癒されました。



8月 1日(水)28日(水)

みんなで紙コップ工作をしました。カラフルな紙コップにハサミで切り込みを入れ、リボンを結び、飾りを入れて持ち帰りました。また完成品の一部はコミュニティセンター企画広報部に寄贈し、出東文化祭のハロウィンで子どもたちにプレゼントされました。



10月 3日(水)23日(水)

1班はひがし銭太鼓クラブさんによる銭太鼓を披露していただきました。しゃんしゃんと軽快な音で踊る姿に手拍子を打ったり曲に合わせて歌ったりして過ごしました。2班はえくぼさんに来ていただき、バンド演奏をしていただきました。



1月 22日(水)

本年度初めて1班と2班の合同による新春昼食会を空港ホテルで行いました。斐川消防署より火災防止と火災報知器についての説明を受けた後、食事とデザートをいただきました。普段とは別の班の方とおしゃべりを楽しみました。



毎回サロンでは、健康推進員さんや佐野あつ子さんを講師に、和気あいあいとした軽い体操を行っています。

上記で紹介した以外にも、サロンでは健康で楽しく過ごせるさまざまなイベントを実施しています。みなさんも出東ふれあいサロンに参加しませんか。詳しくは、コミセンまでお問い合わせください。



4月 出東地区 行事予定

- 8日(火) 出東小学校・斐川東中学校始業式
コミセン運営委員会
- 9日(水) 斐川東中学校入学式
- 10日(木) 出東小学校入学式
- 13日(日) 出雲市長・市議会議員選挙投票日
- 17日(木) コミセン喫茶
- 19日(土) 出東地区自治協会総会
- 23日(水) 健康づくりの会理事会
- 25日(金) 環境保全連合会理事会
- 30日(水) 虹教室(2年生)

※毎週水曜日の「あいさつデー」に参加しよう!

ヨガクラブ

ヨガで生活リズム
整えましょう!

ヨガクラブでは、とても愉快な先生の指導のもと、身体の歪みや痛み・リンパの流れ・冷えを改善するなど、様々な要素の運動を月2回第2・4金曜日午後8時から9時まで集会所で行っています!

現在20名以上の幅広い年代層で楽しく活動しています。「ヨガ」に苦手意識がある方、初心者の方、男性でも簡単にできる体操がメインです。何歳から始めても遅くはありません。5年後、10年後の元気な身体を目指して、一緒に身体を動かしてみませんか?

サークルさん
いらっしや〜い

一緒に
整えましょう!



二十歳を迎えた皆さん、おめでとうございます。

出東地区自治協会では2年前より、1月の「二十歳の集い」式典を迎えられる20歳の若者たちに、次世代の出東を担っていただくとの思いから、自治協会長からお祝いのメッセージを添え、出東地区の地図をデザイン化したオリジナルトートバッグを贈っています。今年度は21名の新成人に各自治協会の方々を通じお渡ししました。

つなごう出東・未来の担い手企画

The Voice

～皆さまからの声～

3月頃には気候も良くなり、雑草も伸び始める時季である。毎年、自宅近くの県道の緑石を除草しているが、出東地区内にある県道の緑石の除草は、全くと言っていいほど何もされていない。緑石には、1メートルくらいの草がシュッと伸びていて、小学生が隠れるような高さまで伸びている。これだけ伸びていると車からも視認することが難しい。通学路になっている県道や空港利用者の通る県道など、大きな交通事故が起きる前に対応してほしいものだ。(三分市 50代 男性)

皆さんの声を募集しています!!

ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じ地域の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封 川上 達弘 様(川東上組)
香典返し 金一封 古川 貴志 様(瀬東)
香典返し 金一封 錦織 修司 様(川東中組)

ご厚志誠にありがとうございました。



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,296戸
●人口 ……3,804人
男性/1,882人 女性/1,922人
令和7年1月31日現在



出東こども園の年長児「きりんぐみ」20名のみんなです。

この春、2つの小学校へ元気に入學します。

友だちが大好きでみんなで助け合える、仲間思いの子どもたちです。

小学1年生になっても、友だちと仲良く楽しく学校生活を送ってくれることでしょう。

子どもたちは地域の宝です。みんなで温かく見守り、支え、育んでいきましょう。

出東こども園

祝 開校150周年

出東小学校開校150周年記念

出東小学校校長を
務められた方々に、当時の思い出を語ってもらいます。

〈シリーズ No.4〉



出東小開校150周年記念
イメージキャラクター
「いっちょちゃん」



石原 順 校長
(平成19年4月～23年3月)

出東小学校での思い出

出東小学校とくくと、夏は緑の葉が茂り秋には鮮やかに黄葉する大銀杏と四季折々に花々が咲いていた円形花壇が目につきます。また、出東小での4年間で特に心に残っているのは次の2つです。

まず、県教研の会場校として国語と外国語活動に取り組んだことです。特に、外国語活動は当時始まったばかりで、教職員の英語指導の経験がなく、教材づくりや学習の組み立てなど全く手探りのスタートでした。しかし、子どもたちは、英語に親しむ活動が

中心だったこともあり、先生方よりずっと早く順応し毎時間楽しんで活動していたのが印象的でした。

2つ目は、校舎の耐震化工事に併せて昇降口周辺が整備されたことです。段差があった昇降口は明るくフラットになり、下足入れも大きくなり使い勝手が良くなりました。併せて会議室や和室、多目的トイレなども整備されました。子どもたちの登校時の表情も明るくなり、学びの環境づくりの大事さを感じたものです。

出東小学校は明治7年(1874)の開校より、今年で150周年を迎えました。

12月5日

木

小学校時代の思い出や今後の目標を語る

出東小学校開校150周年記念事業実行委員会

出東小学校開校150周年記念事業の一環として、同校卒業生でパラクライミング日本代表、岡田卓也さん(34)の講演が同校で行われ、4〜6年生の児童と保護者、地域の人たち100人以上が聴講しました。

小学3年生の時に病気で体幹機能と右手に障害が残った岡田さん。5年前から始めたパラクライミングで、昨年ワールドカップ、世界選手権では3度表彰台に立ち、今季は4位を3回獲得の成績を残し、2028年のロスオリンピックでは追加種目となる可能性もあり期待が高まります。講演では、ごく普通の小学生だったが病気のあと不登校になったと話し、子どもたちに対し「望みが叶わなくても続けていればチャンスは訪れる」とメッセージを送りました。

また講演会開始前には(株)フクダより校旗贈呈式が行われ、新調された校旗が児童や保護者、地域の人たちに披露されました。



12月7日

土

人権問題を熱心に学ぶ ～自治会長42名が参加～

出東地区人権・同和教育推進協議会



人権週間にあわせ、「人権DVD研修」を実施し、自治会長42名が参加しました。多様性を認める社会をめざそうという内容の「カラフル」というタイトルのDVDを鑑賞。他人のうわさや子供の就職や結婚の際に表れる親の理想と価値観、「普通でない」という考え方とLGBTの理解など、家庭の中にある人権課題について考えました。参加者は「うわさ話や人の悪口についてつい乗りがちだが、本当にそうなのか一度立ち止まる。自分から拡散することがないように気をつけようと思う」などと感想を述べていました。

1月6日

月

「上手に書けたよ」 新春書初め会

出東地区青少年育成協議会



コミセン集会室を会場に新春書初め会が開かれ、小学4年生から6年生8名の子どもたちが参加しました。植田義久会長のあいさつの後、子どもたちは手本を参考にしたり講師の保寿寺住職藤岡牧雄さん、由理子さん夫妻の手ほどきをうけながら、真剣な表情で課題に向かい筆を走らせていました。1枚目から3枚目に進むにつれ、習字が上達し大満足そうな様子でした。予定していた連だこあげは雨のため中止となり残念そうでした。

12月24日

火

サンタのプレゼント に笑顔

自主企画事業/地域づくり部

毎年恒例のサンタが子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける企画を行いました。ご家族の方が用意したプレゼントを袋に詰め、サンタクロースに扮した部員が2チームに分かれ、応募のあった8世帯を一軒ずつ訪問し16名の子どもたちにプレゼントを手渡ししました。

トナカイの鈴の音とクリスマスソングを鳴らしながら玄関を入ると、突然のサンタ訪問に驚き一瞬固まった表情を見せた子どもも「サンタさんが約束通り来てくれた」と嬉しそうにプレゼントを受け取っていました。子どもたちの笑顔に、サンタやトナカイさんにとっても心温まるクリスマスとなりました。



1月11日

土

交流もちつき会を開催 ～本番は来年度～

出東地区自治協会



コロナ禍を経て、昨今自治会活動が縮小している中、地域の元気を取り戻し、出東に住む人たちの笑顔と交流を促進しようと、地域交流餅つき会が行われました。

来年度は地域全体に案内、多くの方に参加してもらうこととし、今回はそのプレ事業として自治協会役員と各専門部のスタッフ31名で実施しました。もち米の量と個数を把握したり、作業手順を確かめながらついた餅を丸めさっそく試食。出来上がったばかりの餅を前に、和やかな雰囲気の中、交流が行われました。

1月14日

火

地域支え合い活動 視察研修

出東地区社会福祉協議会・出東地区自治協会



出雲市稗原地区で助け合い活動を実施している「ひえばらお助けマン互助会」を社協と自治協会役員ら7名で視察しました。

できる限り住み慣れた地元で、誰もが安心して暮らせるよう困りごとの手助けをする「助け合い活動団体」の立ち上げを出東地区でも目指しており、今後具体的なプランの策定をする予定です。地区社協の中間会長は「地区の皆さんの理解を得ながら、助け合い団体を立ち上げていきたい」と意気込んでいました。

コラム

地域のために頑張ってます!!

高齢者ふれあいサロン ボランティアスタッフ



高齢者ふれあいサロンボランティアスタッフのみなさん

参加される方たちの笑顔と言葉に励まされ

出東コミュニティセンターが高齢者の方々に月2回(※令和7年2月時点)開催する出東ふれあいサロンで、催し物の企画立案から会場設営、運営、参加者の送迎など多岐に亘る内容を19名のボランティアスタッフでお世話をしています。

参加者が高齢の方々にだけ体調や転倒しないかなど気遣う点が多い中、参加した皆さんが帰られる時「今日は来てよかった。楽しかった」と話されるその言葉に励まされ活動が続けています。

地域のお年寄りの皆さんが、外に出かけたり、みんなで集まって話をする機会が少なくなってきた昨今だからこそ、高齢者サロンの重要性が増します。ボランティアスタッフのメンバーも年齢を重ねながら、これからも地域で助け合い、皆さんが楽しく暮らせるようお手伝いできたらと思います。

1月19日

日

白熱したプレイに盛んな応援! インドアYUKIGASSEN

自主企画事業/子育て部



出東小学校体育館を会場に大人と小学生25名が、雪玉に見立てた柔らかい玉を投げ合う室内雪合戦を楽しみました。

はじめに古川俊之部長から出東バージョンにアレンジしたルール説明を受けた後に、4名1チームが6チームに分かれトーナメント戦で対戦。各チームは戦法を練り、段ボールの壁に隠れ相手の出方を見ながら果敢に相手コートに飛び込み、風船ペットボトルを狙いにいきました。相手チームも必死に雪玉ボールで応戦。保護者やギャラリの熱い声援で白熱した試合を繰り広げました。

1月27日

月

「むかし取った杵柄」で 世代間交流

出東地区社会福祉協議会



昔から親しまれている遊びを通して地域の人と子どもたちが交流する「むかし遊び」が、出東小学校1年生クラスで開催されました。

今回は、こま回し、けんだま、べったん、お手玉、あやとり、おはじきの6つの遊びを体験。地域住民12名がお手本を示しながらコツを丁寧に伝授していました。少しずつできるようになると子どもたちのとても喜んでる姿が見られ、指導した女性は「ふだん子どもたちと接する機会が少ないので私も元気をもらえた」と笑顔で話してくれました。2月5日には出東こども園でも行われました。

12月11日

水

出東カローリングクラブが受賞

健康長寿しまね推進会議

長年地域の健康づくりや生きがい活動に貢献したとして出東カローリングクラブ(三島広幸さん代表、29名)が出雲圏域健康長寿しまね推進会議から継続賞の表彰を受けました。

同クラブは、平成27年6月から体力に関係なく気軽にできるインドアスポーツとしてクラブ活動を始め今年で10年目。月に2回コミセンで練習し、会員の交流を深めるとともに技術向上に励んでいるほか、放課後子ども教室などの講師や身



障者カローリング大会の支援、グループホームに出かけ指導するなど幅広く活動を行っています。これらを含め、熱心に継続して取り組んでいることが評価されたもので、代表の三島さんは「活動が認められありがたい。これからも続けていきたい」と抱負を語っていました。

坂田土手町神楽を保存継承する 若宮神社

●斐川町坂田1451番地1



坂田地区資生自治会にある若宮神社は、「大穴牟遲神・事代主神」を祭神として祀られており、悪病退散、五穀豊穡を御神徳としている。

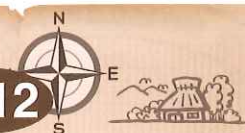
本社は、当地に悪病が流行し庶民が苦慮していた安政3(1856)年8月、同地区の植田豊平の父豊助が杵築大社(出雲大社)より御分霊を勧請

し、近隣の人々とともに信仰していた。しかし、明治維新の際、解除命令により、明治7(1874)年、三分市の熊野神社境内に合祀された。

その後、坂田地区の人々の請願により明治12(1879)年3月、現在の地に再び祀られ、人々が参拝することを許可され現在に至っている。

古くから、七座神事、神代神楽を奉納し、坂田土手町神楽保存会として維持、保存され今に受け継がれている。

出東歴史散歩 Vol.12



Vol.02

出東コミュニティセンターでは、みんなで一緒に地域を盛り上げようと、6つの専門部それぞれで、年間を通じていろいろな楽しくタメになる企画を考え、実施しています。随時その活動内容を紹介していきます。

子育て部

出東子育てプロジェクト、部員急募!

こんにちは。出東コミュニティセンター専門部「子育て部」です!子育て部では、出東の子どもたちにたくさんの経験や体験をしてもらおうと、部員間で楽しく企画を考えています。

これまで「空き缶積み大会」「雑巾がけ「Z-1」グランプリ」「ペットボトルツリー作り」「インドアYUKIGASSEN」「コミセンお庭キャンプ」「出東文化祭、出東たなばた会でのイベント」などなど、マンネリ化しないよう常に新たな企画を考えています。

そこで、一緒に企画を考えていただきたい、そこのお父さん、お母さん!出東子どもたちの子育て「出東子育てプロジェクト」を一緒に考えてみませんか?是非ともお力を借りたいので、「えっ、私でよければいいですよ」という方は、こちらまでお電話ください。

☎ 出東コミセン 電話0853-62-5033

【令和5・6年度の主な活動】



ペットボトルツリー



▲コミセンお庭キャンプ

子どもたち
とっても
楽しそうじゃ!